

県高P連広報



対 応 力

新潟県高等学校PTA連合会

副会長 永井智則

(高田商業高等学校PTA会長)

立春とは名ばかりで、まだまだ寒さが続く時期ですが、皆様お変わりないでしょうか。日頃より新潟県高等学校PTA連合会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、二〇二五年度を振り返りますと備蓄米を求めてスーパーに長蛇の列ができた事が思い出されます。令和のこの時代に！しかも米どころの新潟でもこのような事態が発生するなど、誰が予想できただしようか。

上越地方では、記録的な少雨により長期間に渡つて節水の協力が必要な事態となりましたが、そうかと思えば激しい大雨に見舞われて道路の冠水や床上浸水など、日常生活に大きな打撃を受けました。また、記憶に新しいところでは熊が人里に降りてきて人間や商業施設を襲うなどの被害がたくさん報道されました。

これらの異常気象に端を発する不測の事態が発生しやすい世の中で、私たち保護者は何を考え、子どもたちを導いていければ良いのでしょうか。例えば米不足に

言葉と向き合い、 掴んだもの

新潟商業高校
ウダルチキ清田エライネ
保護者



私の娘が弁論大会と

いう大きな舞台に挑戦する姿を見守る中で、

母である私は「自分の言葉で伝えること」の重みと尊さを、改めて実感しました。娘はブラジル国籍を持ち、幼い頃から日本で育つきました。自分の考えを深く見つめ、それを日本語の言葉として紡ぎ出されをきっかけに私たちは流通の仕組みを知つたり、日本の農業に対する問題点について考えたりと逆境を逆手に取り、成長の糧としました。落ち着いて状況を見た上で解決策を立案する「思考力」、迅速かつ的確に動く「行動力」、そして冷静さを失わず柔軟な思考で前向きに取り組む「精神力」。これらの「対応力」を子どもたちに見せていく大人であります。

親の心子知らず、 子の心親知らず

海洋高校相撲部 保護者

山本 房江

二〇二五年全国高校総合体育大会（インターハイ）相撲は、鳥取市ヤマタスポーツパーク鳥取県民体育館で行われました。新潟県立海洋高等学校相撲部の生徒選手がファイギュアGPファイナルで2位を獲得し、ミラノ・コルティナ冬季五輪の日本代表に選ばれました。私たちの子どもと同年代の生徒の活躍はとても明るい希望となりますよね。

中井選手のように大きく飛躍できるよう、私たちも『対応力』に磨きをかけて今年も一年頑張っていきましょう。大会では個人戦、団体戦が行われました。子供達が自分を鼓舞し、仲間と団結

い、最後まで挑戦を続けました。その姿は、親として何より誇らしいものでした。こうした努力が実を結び、七月に開催された「かがわ総文祭2025」の弁論部門において、優秀賞（全国第3位）をいただくことができました。結果以上に、弁論を通して多くの人の思いに触れ、自らの視野を広げていった過程が、娘にとって大きな財産になつたと感じています。母として、自分の想いを言葉にし、表現する力を身につけた娘の成長を、これからも温かく見守っていきたいと思います。ご指導ください。さった先生方、そして支えてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。



息子には海洋高校での学びを活かし、自分の決めた事を最後まで諦めることなく続けて欲しいと願っています。また、海洋高校相撲部の今後の活躍と発展をお祈り申し上げます。

新潟地区

新発田・村上地区 阿賀野高校

PTA会長
佐藤
明子

地区 P.T.A 指導者研修会を開催いたしました。当日は、三十九名の方々のご参加をいただきました。はじめに冒頭高P連の遠藤和人副会長から活動報告をいただき、次に下越北地区

その後、県教育庁生徒指導課支援・相談班副参事・指導主事の星野勝紀様から、「いじめの現状と課題」と題してご講話をおいただき、「学校の『いじめ』対応」などについて解説していただきました。結びに、開催にあたりご協力をいたいた各学校の関係者の皆様方に心から感謝を申し上げます。

漫画エッセイストでコミュニケーションクリエイターのちやい文々様を講師としてお迎えし、「見守る勇気、信じる力—思春期の挑戦を支える親の役割」と題してご講演をいただきました。ご講演では、「毎日のキラキラを言語化する」、「できなかつた四十%ではなく、できている六十%を認める」など、親の役割について、わかりやすくお話ししていただきました。

十一月十九日（水）に新潟東映ホテルにて地区指導者研修会を開催し、十四校約四十名の方から参加いただきました。まず、県高P連会長の古川憲様からご挨拶と、県高P連の活動状況、北信越及び全国大会の報告をいただきました。

研修会では、県教育庁生徒指導課いじめ対策室指導主事の中村香央里様から、いじめの現状と課題について講演いただきました。いじめ問題の解決に向けては学校全体で問題を共有し対応しているとのことでしたが、高校生であっても学校だけではなく保護者の関わりも大切だと考える機会になりました。

思いについて講演をいただきました。子どもが失敗を繰り返しながらも前に進んでいけるように、また、家庭と学校が連携して子どもが自分で進んでいく様子に、やる気を持つた子どもを育てることが大切だと、感じさせられました。

ご参加いただきました皆様に感謝申し上げます。



新津地区

PTA会長
廣瀬
桂

笠原崇様より「いじめの現状と課題」について、いじめの定義のご説明や学校と家庭の

連携の重要性 また自殺防止のため 子どもの変化の捉え方や声かけの例などについてお話しいただきました。続いてコミニュニケーションクリエーター 漫画エッセイストのちやい文々様より「見守る勇気、信じる力―思春期の挑戦を支える親の役割」と題して、ご講演いただきました。ちやい様の温かいお言葉と豊かな経験に基づいたお話は、参加者の心に深く響き、子どもたちを信じて見守ることの大切さを改めて感じるとともに日々の関わり方を見つめ直す貴重な機会となりました。教育懇談会ではちやい様を囲み歓談するなど、貴重な情報交換や交流の場となりました。

最後に、ご協力いただきました各校の皆様のおかげにより有意義な研修会となりましたことに感謝申し上げます。

卷 地 区 分 水 高 校

PTA会長 平原あい子

二十一日（金）新潟市巻ふれあい福利センターにて開催されました。当日は四校から約三十名の方々にご参加いただきました。

はじめに県高等学校PTA連合会の今年度の活動報告と次年度の大会等の概要について説明していただきました。次に県教育庁生徒指導課副参事指導主事の星野勝紀様より「いじめの現状と課題」と題してご講演をいただきました。コロナ禍で減少したいじめの認知件数は再び増加していること、いじめの定義について学校でのいじめの対応や家庭での子供との接し方をお話していただきました。そ

方のセルフケア」と題してご講演いたしました。自分自身を好きになることで、心身が整うことを、整う方法と、その効果について水科様の経験を通してお話しいただき、とても心温まるご講演でした。各校のご協力のもと、充実した研修会を開催できましたことを心より感謝申し上げます。



た。その後、各校の活動状況の報告がありまし

長岡地区 長岡工業高校

PTA会長 角屋 洋

十一月二十一日（金）、アトリウム長岡にて、四十二名の方々から参加いたしました。

はじめに県高P連副会長、長岡高校親師会長の中山良二様から挨拶と全国高P連大会のご報告をいただきました。

続いて、生徒指導課いじめ対策室指導主事中村香央里様から「いじめの現状と課題」と題してご講話をいただきました。いじめの定義、学校でのいじめ対応、SNSにまつわるトラブル及び家庭での対策方法等のご説明をいただきました。後半は有限会社イチゼン石油代表取締役社長藤井芳様より「日本一の長岡花



魚沼地区 小出高校

PTA会長 坂本 淳

十一月七日（金）、魚沼市ボランティアセンターにて魚沼地区高等学校PTA研修会を開催しました。

冒頭、県高P連理事長宮内正行様より今年度の活動報告をいいました。小千谷高等学校PTA会長宮内正行様より今年度の活動報告をいいました。魚沼市ボランティアセンターにて魚沼地区高等学校PTA研修会を開催しました。

研究協議では小千谷西高等学校、六日町高等学校、松代高等学校からPTA活動の実践発表があり、各校の取組を共有しました。

後半は上越教育大学大学院准教授田中圭介様による「心配と心の健康」の講演がありました。後半は上越教育大学大学院准教授田中圭介様による「心配と心の健康」の講演がありました。罰則や叱責より肯定的行動を増やす支援法「PBS」について学び、子どもへの関わり方を考える貴重な機会となりました。

研修後の教育懇談会では各校と親睦を深め、率直な意見交換ができました。

皆様のご協力により充実した研修会となりましたことに心より感謝申し上げます。



柏崎地区 柏崎工業高校

PTA会長 山本 浩宣

十一月十三日（木）、柏崎市立図書館にて、柏崎地区高等学校PTA研修会を開催いたしました。



課いじめ対策室長の真貝康広様より、いじめ等の防止及び自殺防止について、ご講話いただきました。防止にあたっては、学校と保護者の連携が大事であると改めて認識した次第です。

また、実践発表として、私から柏崎工業高等学校PTA活動の取り組みを報告させていただきました。

続いて、ハローワーク柏崎の田中章子様より「就職活動の現状と近年の動向」と題し、地元柏崎市の高校生における就職活動の現状について説明いただきました。就活に挑むうえでの大事な視点は何か、親として日ごろから子どもとどう向き合うべきか、学び、考える時間となりました。

多岐にわたる内容の有意義な研修会を開催できましたことに、深く感謝申し上げます。

三条・燕・加茂地区 燕中等教育学校

PTA会長 WATANABE DAIZO

十一月二十一日（金）、燕三条ワシントンホテルにて研修会が開催され、七校二十五名が参加しました。

はじめに、県高P連理事で三条東高校PTA会長の銀山良雄様より、今年度大会の報告と次年度大会の概要について説明をいただきました。

続いて、県教育庁生徒指導課副参事の笠原崇様より、「いじめの現状と課題」と題したご講話をいただきました。いじめの定義や学校での対応、SNS上のトラブル、思春期の子どもとの関わり方にについて具体例を交え分かりやすくお話しいただき、理解を深めることができます。



研修会後は、各校の親睦を深め、半日間の全行程を無事終えることができました。開催にご協力いただいた関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

各校の活動報告の後、教育講演会では燕商工会議所の高野雅哉様より、「ものづくりから人づくりを見据える」と題してご講演いただきました。燕市の産業を支える職人の挑戦の歴史や、「磨き屋シンジケート」設立の背景、地域ブランドづくりの取り組みについて伺い、地場産業の未来を考える貴重な機会となりました。

高田・直江津地区 上越高校

PTA会長 小林 桂

十一月二十一日（金）、ホテルハイマーにて、高田地区・直江津地区研修会を開催しました。当日は、四十九名の方々からご参加いただきました。はじめに、県高P連永井副会長様から全国大会の報告をいただきました。

続いて研究協議として「上越高校のPTA活動」について上越高校PTA副会長、松苗が報告させていただきました。その後、新潟県教育庁生徒

長津様より、「いじめ問題の難しさや課題を説明していました。

講演は、僭越ながら、私が講師として

演題「眞の健康とは」を講演させていた

だきました。仕事として「カイロプラクティック」に携わっており、日々多くの患者様の骨格矯正と姿勢検査、そして慢性的な症状や自立神経の不調などを解消するお手伝いをしております。その中で培った知識の中で、「ご参加されているご自身やお子様、ご家族の姿勢」について考えていただき、健康で生きていくためには必要な生活習慣について、お話をさせて頂きました。各校のPTA会員、役員、教職員の皆様のご支援により、充実した研修会となり、心から感謝申し上げます。

佐渡地区高等学校・中等教育学校研修会は十月三十日（木）、ホテル八幡館にて開催されました。はじめに県高P連理事川上豪様から今年度活動計画及び報告をいただきました。続いて県教育庁生徒指導課いじめ対策室副参事指導主事長津綾子様からいじめ等の防止及び自殺防止についてのご講話をいただきました。家庭と教育現場において私たちが子どもたちの小さな変化に気付き一人ひとりに真剣に向き合う姿勢が不可欠だと改めて認識することができました。

PTA会長 島倉 学



貴重なご講演により誠に有意義な会となりました。関係の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

全国高P連大会

期日 令和八年八月二十日（木）～二十一日（金）

会場 全体会場

別府国際コンベンションセンター
(大分県別府市山の手町十二一一一)

分科会会場

北信越地区高P連研究大会

期日 令和八年七月九日（木）～十日（金）

会場 石川県立音楽堂コンサートホール
(石川県金沢市昭和町二十一一)
教育懇談会 ANAクラウンプラザホテル金沢

大会テーマ 全国大会に準ずる

令和六年能登半島地震及び奥能登豪雨により、誰でもが当たり前ではない状況を経験した学校教育や家庭教育を見つめ直し、PTAの存在意義を改めて考える研究大会が計画されています。各県発表は、県高P連総会で発表いただく新発田商業高校が壇上発表、他の三校は誌上発表となっています。各県Pからの申込みは五月上旬の予定です。なお、申込時に宿泊の斡旋は行われませんので、県Pが企画する宿泊付きバスプランをご利用いただき、各校で宿泊先を確保していただきますようお願ひします。

【調査広報委員会委員】
◎新潟工業高校P会長 中村 未知
新潟高校P会長 堀川 裕司
新潟南高校P会長 馬場 匠
新潟西高校P会長 三岡 幸子
新潟高校長 市野 正廣
新潟北高校長 星 達哉
新潟商業高校長 小畠 智嗣
高志中等教育学校長 灰野 仁
新潟向陽高校長 丸山 純子
◎委員長 新潟向陽高等学校
●事務局 (事務局所在地)
新潟向陽高等学校
新潟市江南区龜田向陽四・三一
TEL○二五(三八二)三三二二一
FAX○二五(三八二)一八三一

編集後記に何を書こうか悩んでいたら、子供が「A Iに聞いてみたら?」と。凄いですね。自分で考えなさいと叱る事なく、作成のコツを優しく教えてくれました。生成A Iの登場で情報収集や要約など簡単にできる時代になりましたが、A Iが導くことの出来ない声を拾い繋げていくのも、PTA活動の醍醐味かなと思います。

（調査広報委員）

新潟西P会長 三岡

令和8年度の開催予定

県高P連総会・安全互助会総会

日時 令和八年六月五日（金）

十二時四十分～十七時
会場 ホテルイタリア軒（新潟市）

例年どおりの日程と内容で実施する予定です。提案発表校は、次の四校です。

第一発表 新発田商業高校

第二発表 明鏡高校

第三発表 塩沢商工高校

第四発表 新井高校

立命館アジア太平洋大学、Iichiko 総合文化センターなど
大会テーマ
「湯」こころ 真「こころ」親「こころ」
～輝く未来を切り開け～
が協力して子どもたちの輝く未来を切り開くべく、健全な成長を支援し、新たな取組や課題解決策について語り合いたいという思いでテーマが設定されました。参加申込み（現地参加とリモート参加）は六月上旬の予定です。県Pが企画する参加プランもご案内いたしますので多数のご参加をお待ちしています。